

武蔵野市議会だより

No.307

MUSASHINO MUNICIPAL ASSEMBLY

発行日：平成15年(2003年)8月1日
発行：武蔵野市議会
東京都武蔵野市緑町2-2-28
TEL 0422-60-1883(直)FAX 0422-55-7555

E-mail OFC-GIKAI@city.musashino.tokyo.jp HomePage <http://www.city.musashino.tokyo.jp/assembly/index.html>

第二回 市議会定例会

六月十日から開かれた第二回定例会は、六月三十日に閉会しました。開会当日は市長が施政方針演説を行い、六月十三日には、これに対する六人の会派代表質問が行われました。また、今議会では、助役・収入役の選任の同意や、住民基本台帳カードの交付の規定を含んだ武蔵野市手数料徴収条例の一部を改正する条例、市立保育園の「涼」環境創出事業を含む補正予算等の議決や鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会の設置のほか、十五人の議員から一般質問が行われるなど、活発な議論が交わられました。

「涼」環境創出に向けて 一般会計予算を補正

六月三十日の本会議で、平成十五年度武蔵野市一般会計補正予算(第一回)が賛成多数で可決されました。今回の補正予算は、歳入・歳出それぞれ二億千四百六十一万九千円を追加し、総額を五百四十五億千四百六十一万九千円とするものです。主な歳出補正の内容は、御寄付いただいた大型天体望遠鏡を備えた天体観望施設を市立自然

の村に建設する経費、保育園での「涼」環境創出のための経費、改築する大野田小学校のシックハウス対策等のための専門員の設置経費などです。同補正予算は、六月十七日の本会議に上程後、各常任委員会に付託されました。各常任委員会は六月二十日から行われ、いずれの委員会でも賛成多数で可決されました。

助役に古田士・永並氏 収入役には山梨氏

六月十七日の本会議で、助役に古田士一雄、永並 譲の両氏、収入役に山梨 榮氏の選任に同意しました。三氏とも庁内から起用されたもので、就任は七月六日からとなります。



古田士一雄氏 早大卒。昭和四十二年武蔵野市役所に入り、秘書室長、企画部長を経て平成十二年十二月から収入役、五十九歳。



永並 譲氏 明大卒。昭和四十七年武蔵野市役所に入り、生涯学習部長を経て、平成十二年十二月から総務部長、五十五歳。



山梨 榮氏 明治学院大卒。昭和四十五年武蔵野市役所に入り、企画部参事、児童女性部長を経て、平成十四年四月から財務部長、五十六歳。

施政方針を質す

代表質問

改選後の初定例会である、第2回定例会の2日目の6月13日、市長の施政方針に対して、6名の各会派代表者による代表質問が行われました。以下はその要旨です。



市長の施政方針

土屋 正忠 市長
TSUCHIYA Masatada

市民生活の安全を目指し 政策を総合的に構築

【市長が6月10日の本会議で行った「施政方針」の要旨です】

今回の選挙の最大の公約は「安心」であり、「市民生活の安全」をキーワードとして、治安・防犯、防災、交通安全、保健について総合的に政策を構築する。第二は高齢者・障害者が地域において尊厳を持って生きられるような、自立支援促進型福祉を構築する。第三は「生きていることのアリティ」が現在の教育に不足しているとの認識のもと、「身体・言語・自然」をキーワードに、教育や子育てを充実させる。第四は緑化の推進と水・エネルギー・資源など、環境に配慮した循環型社会の創設。第五は武蔵境の南北を一体としたまちづくりの推進。第六は安全で清潔で楽しい新たな吉祥寺計画の推進。第七は情報公開と個人情報保護の推進。第八は市役所の仕事

を積極的に市民に開放し、やわらかい組織を目指す。
重点を置く主な事業としては、まちづくりの基盤となる道路整備 交通不便地域の再点検と交通バリアフリーの推進 文化・スポーツ・コミュニティ活動への支援 生涯学習の一層の充実 水道事業・下水道事業における良好な状態維持のための計画的な投資の実施 国内・国際交流において「顔の見えぬ」関係を重視した交流の推進 男女の性差から生ずる不当な社会的差別の撤廃 公立保育園のあり方を見直し、国民健康保険負担の見直しと、国を目指す新たな高齢者医療制度への必要な対応 地方分権と行財政改革の推進。
さらに、平成17年度から始まる新しい「第4期基本構想・長期計画」の策定に市民参加で取り組む。

「施政方針」：市長の今後4年間の任期における市政運営の方針を示すもの

「平成15年度施政方針」は、武蔵野市役所のホームページまたは市役所2階市政資料コーナーで閲覧することができます。また、市報6月15日号には要旨が掲載されています。



地球環境保全やCO₂削減として、公園・緑地の創出、交差点開発への指導等、緑を守り育てる努力を続けていきます。

鉄道対策・農水省跡地利用 特別委員会を設置

6月30日の本会議で、JR中央線三鷹・立川間の高架複々線問題の解決、高架下に付随する問題の解決、農水省倉庫倉庫跡地の利用計画の調査・検討を行うために、鉄道対策・農水省跡地利用特別委員会が設置されました。
同委員会の委員数は9名で、設置期限は平成17年6月定例会最終日までです。高架複々線問題、高架下に付随する問題については、平成14年12月に武蔵境新駅舎のデザイン(案)が提示され、また、本年9月には三鷹・園分寺間の上り線を仮線に切りかえる工事が行われるなど、事業が大きく進展しています。
また、農水省倉庫倉庫跡地の利用計画については、同跡地の北側半分を公園にすることが既に決まっており、南側については、平成15年2月に新公共施設基

本計画策定委員会から、基本コンセプトを「集う、学ぶ、創る、育む」知的創造拠点」とする施設案が市長に答申されています。
なお、同特別委員会委員は次のとおりで、正副委員長については次回8月開催予定の委員会で選出します。
島崎 義司
本間 まさよ
山本 ひとみ
川名 ゆうじ
田辺 あき子
鈴木 有臣
砂川 なおみ
土屋 美恵子
(議席番号順)
*同特別委員会設置に伴い、既に総務委員会に付託されていた「農水省跡地利用計画」に関する議会の審議の適正化に関する陳情」外1件を同特別委員会に付託がえしました。

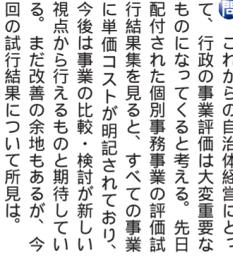


本間まさよ議員
HOMMA Masayo
【日本共産党武蔵野市議員】

乳幼児医療費の所得制限が都の基準のままであるのは、二十六年市中、本市を含む七市にすぎない。所得制限の撤廃を求めるが所見は、
所得保障のために都が設けた制度であり、原則は都の基準で実施すべきものと考え、今後長期計画等で研究していきたい。
今回の選挙期間中、うさぎや

乳幼児医療費の所得制限の撤廃を

これをめぐって議員を攻撃する所不明の謀略ピラがまかれた。厳重対応をすべきではないか。
ピラ等への事前対応は検閲にあたるので、事後対応しかありえない。選挙違反は、刑事事件であり、司法警察職員の担当である。
家庭ごみの有料化が必ずしもごみの減量化につながっていない自治体もある。緊急事態宣言等、市民への啓発が必要ではないか。
市民から要望の強い中学校給食を実施しないのはなぜか。
教育委員会の答申や市民アンケートを基に判断したい。今後長期計画の中で研究していきたい。
このほか、有事法制・三位一体



山下倫一議員
YAMASHITA Tomokazu
【市議会市民クラブ】

これからの自治体経営にとり、行政の事業評価は大変重要なものになってくると考え、先日配付された個別事務事業の評価試行結果集を見ると、すべての事業に単価コストが明記されており、今後は事業の比較・検討が新しい視点から行えるものと期待している。また改善の余地もあるが、今回の試行結果について所見は、行政コストだけでは事業評価

新しい視点による 行政評価システム 今後の改善に期待

吉祥寺園の整備方針のキーワードは、清潔で美しく、市民が歩けるまちである。美しいまち吉祥寺の実現について所見を伺う。
未広通りを含む各通りを快適・清潔にするための対策は今後も着実に進めていきたい。また、まちの落書きを掃くために庁



石井一徳議員
ISHII Kazunori
【自由民主クラブ】

三駅のグランドデザインは

内にチームをつくり、研究している。武蔵境の五年後をイメージすると、鉄道の高架化により渋滞の解消や農水省倉庫跡地の公共施設とふれあい広場との調和、北口広場の完成等、再開発の各事業が終わり、人々は心から感謝している。だが、新しいものだけでは、まちの特徴や魅力が見えてこない。まちのグランドデザインが必要であるが、武蔵境に対する要望を伺う。
吉祥寺のような多層多層の商業活動はないかもしれないが、緑豊かな環境の中、路線商業が生活を支える自己完結型のまちになる。周囲の大学とともに、新しい、学術・青年のまちに発展し、住みやすいまちがでると考える。三鷹駅北口周辺のグランドデ



今の吉祥寺の魅力。清潔・美しく、まちとしての魅力がベースに、新時代に向けてグランドデザインを検討していきます。

このほか、市長選挙、まちの安全・美化、防災センターの設置、緑被率の増加、NPO団体支援、こみ焼却、クリーンセンター建てかえ、建築指導要綱の運用、武蔵境のまちづくり等についての質問がありました。

グランドデザインとは

「グランドデザイン」とは、中長期的で総合的なまちの発展計画を示すものです。
平成十年に国土庁がまとめた全国総合開発計画が、21世紀の国土のグランドデザインと名づけられ、この言葉が使われるようになった。

グランドデザインについて、見解を伺う。
バス以外の車と歩行動線が交差している問題は今後の課題だ。通称梅林の動向については、十分に注目し、四千平米の公共用地については、まちづくりの全体の方向性が出るまでは自転車対策に使用する。
このほか、市民の安全・安心、環境問題等についての質問がありました。

市民生活の安全・安心を問う

歩行者を守るため、歩道を走る暴走自転車に対して実効性のある条例を制定する考えはあるか。
積極的に検討したいが、自転車は道路交通法の網がかかっており、独自条例の制定は難しい。
吉祥寺駅周辺の再開発について、駅南口のバークロードの道路については、大きく変更危険である。南口駅前広場の進捗状況、今後のスケジューリングや方向性について同駅周辺の放置自転車問題の抜本的な解決策は、駅からそう遠くない場所には大規模な駐輪場をつくる以外にはない。西友駐車場及び隣接する土地と吉祥寺大通りの地下を利用して、大規模な地下駐輪

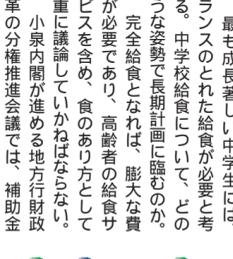


山本ひとみ議員
YAMAMOTO Hitomi
【市民の党】

行財政改革を進めるため、市長報酬の二十パーセント削減、退職金の半減と支出内容の見直し、職責の半減と支出内容の見直し、市の特別職の報酬は、報酬制度審議会の答申を参考に条例で定めている。昨年、同審議会を開催したが、改定する必要がないとの答申をいただいたため、条例改正は行っており、報酬カットの考

市長報酬削減、入札制度改革 行財政改革の推進を

最も成長著しい中学生には、パランスのとれた給食が必要と考える。中学校給食について、どのような姿勢で長期計画に臨むのか。
完全給食となれば、膨大な費用が必要であり、高齢者の給食サービスを含め、食のあり方として慎重に議論していかねばならない。
小泉内閣が進める地方行財政改革の分権推進会議では、補助財源削減を先行させ、税源委譲を将来



田辺あき子議員
TANABE Akiko
【市議会公明党】

増税時に先送りする案が示されているが、地方交付税制度を含めた、今後の地方税法のあり方について見解を伺う。
補助金を地方交付税に振りかえることは、不交付団体である本市にとって問題であり、三位一体での改革が必要と考える。今後、形を変えて影響してくるだろう。引き続き注目していきたい。
いじめ撲滅に向けて学校・地域・家庭・P・R、健全な教育環境を築くべきと考え、所見は、
いじめはあるかもしれないという前提で取り組んでいく。現在問題なのは親から子への暴力であり、条例制定も視野に入れていく。
武蔵境のまちづくりについて、具体的なイメージを伺う。
緑・学術・教育・文化・国際などがキーワードであり、長期計画や都市マスタープランで議論し

長期計画 策定に向け 中学校給食検討を

このほか、特別養護老人ホーム・グループホーム等の高齢者・障害者福祉施設整備目標の上方修正、中学校給食実施、公立保育園・小・中学校へのクーラー設置等についての質問がありました。



水野 学議員
MIZUNO Manabu
【民主・市民ネット】

場と駐輪場をつくる考えはないか

鋭意用地買収しているが、なかなか納得が得られていない。大規模駐輪場には賛成だが場所が問題であり、立体駐輪場等も難しい。今後研究してみたい。また、地下利用は、採算性も考慮し、駐輪場や駐輪場だけでなく商業の活性化も今後視野に入れていきたい。
このほか、市長の多選問題、防災センター、特別養護老人ホームの整備、「涼」環境の創出、国内交流事業、長期計画の策定方法等についての質問がありました。

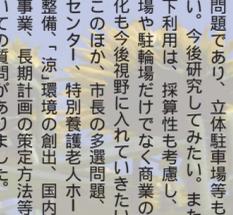


わけではない。それならば、外環道路が開通から東名まで延伸されるのは必要なことと考える。
このほか、特別養護老人ホーム・グループホーム等の高齢者・障害者福祉施設整備目標の上方修正、中学校給食実施、公立保育園・小・中学校へのクーラー設置等についての質問がありました。

このほか、災害弱者の避難態勢、高齢者の食事サービス、福祉型住宅の施設整備、天文台踏切の安全対策、U・バス路線拡大、男女共同参画等についての質問がありました。



このほか、災害弱者の避難態勢、高齢者の食事サービス、福祉型住宅の施設整備、天文台踏切の安全対策、U・バス路線拡大、男女共同参画等についての質問がありました。



このほか、災害弱者の避難態勢、高齢者の食事サービス、福祉型住宅の施設整備、天文台踏切の安全対策、U・バス路線拡大、男女共同参画等についての質問がありました。



近年の夏の暑さによる幼児の健康への影響を考慮し、市では、市立保育園に地下水の屋根排水や換気扇での通風により「涼」環境を創出することし、モデル園として南保育園の改修を行いました。

生涯スポーツによる社会づくりを地域から

桑津昇太郎議員

- 問 スポーツの振興支援は、学校・行政・企業による主導から、地域住民・地域クラブへと移行すべきだと考えられている。学校週5日制導入による子どもの受け皿としての役割や、高齢者の生きがいづくり等という点からも地域でのスポーツクラブの育成・展開が必要と考えるが、本市の対策は。
- 答 今後とも、地域指導者の育成と、地域スポーツ活動の基盤づくりに努めたい。
- 問 中央公園のスポーツ広場を、整備の行き届いたグラウンドにできないのか。
- 答 改修を見据え、都と協議を進めたい。このほか、中学校の部活動支援等についての質問がありました。

地域の安全・安心施策の展望を問う

小野正二議員

- 問 安全・安心施策について、住まいの防犯フェアの内容を伺う。ヒッキング防止策で、かぎ交換費用を助成してはどうか。ホワイトイグル等の効果は。地震に関する地域危険度マップの危険度減少策を問う。
- 答 11月9日にスイングホールで警察等による催しを行い市民意識を啓発したいと考えていない。防犯・防災に成果を上げている。木造密集地域対策、小・中学校強化と水や物質態勢確立、防災センター建設、建物強化、市民防災意識の喚起に取り組み。
- 問 都の商店振興3事業への本市の対応は。
- 答 補助はしている。要望は多いと考えるため、経過を見て補正予算等で検討したい。

中央コミュニティセンターの建てかえを求める

近藤和義議員

- 問 中央コミュニティセンターは建築後30年が経過し、構造上エレベーター設置等のバリアフリー改修も難しいため、隣のシルバー人材センターを含めて総合的に建て直すべきと考える。建て直しに当たっては、テンミリオンハウス等を併設した地域の文化・コミュニティの核となる施設を建設していただきたいが、いかがか。
- 答 建て直すのであれば総合的に行うことになるだろう。しかし、中央コミュニティセンターの寿命はあと30年程度であり、今のところ具体的なプランは考えていない。このほか、ドッグラン、ムーブス新路線等についての質問がありました。

子どもの健康に よりよい環境を

砂川なおみ議員

- 問 シックスクール対策に対しては、より厳しい基準づくりが必要と考えるが、本市における子どもの健康調査の実態は。大野田小学校の改築に伴い、他市における症状例など、調査・検討は行ったのか。数値目標や指定物質など、本市ではどのような基準を定めるのか。
- 答 子どものアレルギー疾患等を調査し、さまざまな症状に対応する体制づくりを行っている。その都度情報収集しているが、原因の特定は非常に困難だ。国土交通省の通知を基準に運用も含め厳正に対処したい。このほか、中学校給食についての質問がありました。

みんなに伝えたい 武蔵野市の「市民参加」

金子 武議員

- 問 コミュニティを中心とする本市の市民参加形態は、武蔵野方式として発展してきたが、転入してきている新しい住民にもこうした情報を伝えていくべきと考えるが所見は。
- 答 非常に大事なことだと考える。
- 問 高齢者の大半は人材として活用できるにもかかわらず、その「場」が不足している。地域の活性化や社会参加促進のためにも、長期計画の柱としてとらえるべきでは。
- 答 高齢者を社会の重要な構成員として積極的に、前向きに活用することについては、もっともな提言としてとらえたい。このほか、市内の原爆被爆者団体への支援の予算化等についての質問がありました。

中学校給食未実施は仕事の停滞ではないか

大野まさき議員

- 問 子育て環境の充実として、中学校給食をなぜ取り上げないのか。四小では暑さのために鼻血を出す児童がいたが「涼」環境対策が必要では。訪問相談室へ通わず登校児童・生徒にも、独自の行事等が必要では。
- 答 長期計画の中で議論したい。南保育園での試みを見ながら検討したい。一人一人の状況に応じて指導・援助を行っている。
- 問 施政方針では、仕事の停滞、行政の私物化等はないとあるが、市長交際費や土地公社の土地購入等の見直しはしないのか。
- 答 過不足のないように行っていきたい。このほか、中町1丁目の中央大通りの信号設置等についての質問がありました。

中学校給食、実現しないのはなぜ

川名ゆうじ議員

- 問 中学校給食がこれまで実現されなかったのはなぜか。
- 答 実現していないのは、費用対効果や優先順位の中で全体的な合意が形成されていないため。また、基本的には個人でできることは個人で行うべきであると考え。
- 問 学童クラブ充実についてのこれまでの取り組みと今後の方向性を伺う。
- 答 昭和59年に公設公営で1小学校1学童クラブを実現して以来、育成内容ともども充実してきた。今後は安全対策や、虐待予防などにも配慮したい。このほか、地域子ども館、プレーパーク、西部図書館等についての質問がありました。

子どもの虐待 早期発見・対処を

土屋美恵子議員

- 問 子どもSOS支援センター(仮称)は、子どもの虐待を早期発見し、早急に対処するために、どのような方策を行うのか。
- 答 同センターは虐待の通報を受け、緊急訪問相談や指導、見守りなどを都立杉並児童相談所をサポートする形で行う。さらに、虐待が発見される主なルートである保育園系統、学校系統、生活保護系統それぞれの課長に責任を持たせて早期発見に努める。
- 問 子育て支援として、乳幼児救急救命講座をすべての親が受けるようにできないか。
- 答 今後研究していきたい。このほか、子育て支援推進のための新規事業等についての質問がありました。

一般質問



第2回定例会で、3日目、4日目の6月16日、17日市政全般について、15名の議員から一般質問が行われました。この中から質問項目を要約して掲載します。詳しくは、各市立図書館、各コミュニティセンター、市役所の市政資料コーナーに置いてある会議録(8月下旬発行予定)または武蔵野市議会ホームページの会議録検索(第2回定例会分は8月25日登録予定)でご覧いただけます。

一般質問とは、議員がその所属する地方公共団体の行政全般にわたり、執行機関に対し、事務の状況及び将来に対する方針等について所信を質し、あるいは報告を求め、または疑問を質すことをいいます。

詳しい内容はこちらのアドレスから検索いただけます

<http://kensakusv.city.musashino.tokyo.jp/kaigiroku/>



吉祥寺市政センター跡地に建設予定の「吉祥寺シアター(仮称)」の建物デザインが決まりました。外観は建物の高さを抑えて都市景観に配慮し、劇場内は演出効果を最大限に引き出すため無茶な内装になっています。

IT活用 積極的に推進すべき

やすえ清治議員

- 問 市民サービス向上のために電子自治体の構築が重要だ。ITを活用した行政サービスの実現について見解を伺う。
- 答 紙媒体であれば、誰もが利用できるが、ITは操作技術が必要なため、サービス分野でどこまで適用できるか等、研究したい。
- 問 インターンシップは学生に職業体験の場を提供し、仕事に対する関心を高める上で大きな意味を持つと考える。市役所でのインターンシップの現状と展望を伺う。
- 答 8月に1、2週間ほど、学生が希望する職場で受け入れている。今後も実施したい。このほか、緊急災害時の情報管理についての質問がありました。

*インターンシップ：仕事の内容が自分の適性と合っているかを知るため、学生が研修生として体験就業すること



市内の公園の美観向上と使用ルールの徹底を目的として、昨年8月に実施した「公園サイン賞」受賞作のデザインをもとに各公園にふさわしい色彩を用いた公園サインを作成しました。

大野田小改築に市民が納得できる説明を

三宅英子議員

- 問 築約30年で危険性ありとされた大野田小の改築について、耐震性が低かった原因を検証すべきでは。千川小施設検証委員会が保護者にアンケートをとらなかった理由は。基本計画検討委員会などの委員選任に偏りがあるのでは。予算の裏づけが大雑把で、標準の単価より高すぎるのでは。
- 答 危険校舎の改築が最優先であり検証していない。違う手法で意見は十分伺った。適切に人選した結果だ。屋上緑化や耐震強化等を行う結果として標準より高くなる。このほか、市長交際費と情報公開についての質問、ホームページでの全部局の交際費・食糧費等の公開の要望がありました。



市内で収集・処分されるごみのうち、可燃ごみの焼却残渣と破砕された不燃ごみは日の出町の二ツ塚処分場に埋め立てられています。近年、埋立量は増加傾向にあり、ごみ減量・リサイクルの推進が喫緊の課題です。

小・中学校にクーラーの設置を

橘 雅子議員

- 問 暑い夏も小・中学生が集中して授業を受けられるよう、普通教室にクーラーの設置を強く求めるが所見は。
- 答 子どもにとって外界の気温に対応していく能力は大切である。窓を開けて授業できる教室に現在設置は考えていない。
- 問 選挙に行くのが困難な人の投票の権利を保障するために、投票所及び不在者投票所の増設を求めるが、見解を伺う。
- 答 投票所数は、市の面積割合で他市に比べて多い。不在者投票所は、設備や管理等の問題があり、増設は考えていない。このほか、井の頭公園(西園)プールの存続等についての質問がありました。

安全で快適な三鷹駅整備を

向谷千鳥議員

- 問 三鷹駅北口下りエスカレーター、エレベーター早期設置は、ベビーカーや車いすを使用している方を初め多くの市民の切実な願いである。今年度の本市予算には、事前調査費が計上され、平成16年以降に実施されるということであるが、市民の声にこたえた速やかな事業着手を求める。また、事前調査の内容を報告し、今後の具体的な計画を示していただきたいが、いかがか。
- 答 基本的にはJRの責任施行であるが、鉄道の安全を確保するためある程度時間は必要だ。今後とも推移を見していきたい。このほか、都営住宅建てかえ、JR宅跡地新築計画等についての質問がありました。

インターネットによる議会中継始まる

武蔵野市議会では、市民の皆さんにとってさらに身近な議会の実現のため、第2回定例会より本会議で行われる「施政方針」、「代表質問」、「一般質問」について、インターネットによる市議会ライブ中継を開始しました。

これにより、議会傍聴や武蔵野三鷹ケーブルテレビで見られることのできなかった会議の様子を、自宅でも簡単に見ることができるようになります。特に、毎定例会ごとに行われる「一般質問」の中継は、武蔵野三鷹ケーブルテレビでも実施しておらず、近隣市でも初めての試みといえます。市政への具体的な疑問・要望を示す「一般質問」は、市民生活になじみやすいテーマが多く、これらの中継によって、議会の役割や機能が一層開かれたものとなります。

なお、次回の放送予定は、第3回定例会 9月2日開会予定)での、「一般質問」中継となっています。



インターネット中継の撮影

コンピュータ上ではこのようにご覧いただけます。

行財政改革 不断の努力で

きくち太郎議員

- 問 行政は肥大化しやすい。今後、福祉行政に膨大なコストが見込まれる中、常にコスト意識を持ち、公務員削減や経費削減を目指すべきと考えるが市長の見解を伺う。
- 答 退職金の見直し、職員定数の削減、財政的な見直し等を逐次進めていきたい。
- 問 公立小・中学校は完全週5日制になり、中学校では総授業時数が年間70時数減った。このような状況の中で武蔵野市の基礎学力充実に向けての取り組みを伺う。
- 答 基礎学力を重視し、学びたいという意欲が起きるような授業をしっかりと行いたい。このほか、福祉行政のゆがみについての質問がありました。

信頼される学校教育の確立を

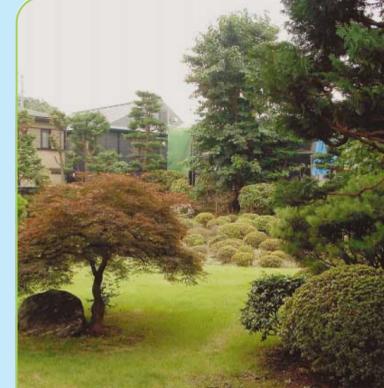
島崎義司議員

- 問 本市の教育改革について、教育基本法は、次代を担う子どもたちのために精神や哲学がしっかりしている必要がある。現在行われている法改正の動きをどう評価しているか。開かれた学校づくり協議会を活用した保護者や地域からの意見聴取と情報提供システムの現状及び方向性について伺う。教師の指導力強化策について伺う。
- 答 審議会の答申と市の教育目標は重なる部分が多い。法改正の経緯を見て、よりよい教育目標にしたい。保護者、地域等広く意見を集約しており、必要なものは学校だより等で周知したい。都の研修のほか、市独自の教育研究員制度等もやっている。

きれいなまちをつくるために

深沢達也議員

- 問 たばこ・ごみのポイ捨てに対し、罰則として過料を科する方法が、他の自治体で効果をあげていると聞く。このような方法について、市長の見解を伺う。
- 答 ポイ捨ての現場をすべて特定できるわけではなく、さらに現場で過料を徴収するのは問題があると考え。
- 問 商店街のシャッターや民家の壁等に落書きが見られるが、除去のための費用を補助するなど市でできることはないか。
- 答 現在、庁内で研究会をつくり、除去する方法も含めて対策を研究している。このほか、市内3駅周辺のクリーン度の現状等についての質問がありました。



都市計画公園として、吉祥寺北町2丁目の「はなもみじ公園」が都市計画決定されました。住宅密集地であるこの地域の防災拠点であると共に、身近なオープンスペースとして活用できる公園に整備される予定です。

第2回定例会で可決された意見書は3件で、意見書については政府へ提出されました。その要旨は次のとおりです。

政府へ

意見書

三位一体の改革に当たっては、地方分権の基本理念を踏まえ、国と地方の役割分担を踏まえた税源移譲等による地方税財源の充実強化が必要不可欠である。

次の事項を基本とする三位一体改革の早期実現を強く要望する。

一、基幹税の再配分を基本とする税源移譲等の地方税財源の充実強化。

二、地方交付税を通じた財源保障機能と財源調整機能は不可欠であり、これの堅持。

三、国庫補助負担金の廃止・縮減は、国民の基本的権利を保障する国の責任の後退や、単なる地方への財政負担の転嫁と

せず、税源移譲等との一体的実施。

(衆議院・参議院議長、内閣総理大臣、内閣官房長官、総務・財務・経済産業・経済財政政策担当大臣あて)

意見書

義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書

小泉内閣は、「聖域なき見直し」を唱え、地方交付税交付金や補助金についても見直しの意向を表明している。義務教育費国庫負担制度は、教育の機会均等とその水準維持向上を図る上で、極めて重要な制度である。

次の事項について、強く要望する。

一、義務教育費国庫負担制度を堅持し、地方の財政運営に支障の生じることのないよう措置すること。

二、同制度から事務職員・栄養職員を除くを行わないこと。

(内閣総理・総務・財務・文部科学・経済財政政策担当大臣あて)

意見書

電力の安定供給に関する意見書

東京電力(株)による一連の不祥事は、電源立地地域住民に対し、原子力発電に対する不安と不信を呼び起こし、ついには全プラントの停止という最悪の事態に至っている。

関係当事者は、引き続き電源立地地域の住民と同じ目線に立ち、何よりも地元住民における安心・安全の確保を最優先に考え、信頼回復へ向けた早急な取り組みが必要である。

東京電力(株)に対する指導・監督の徹底を図り、一日も早く、電力の安定供給に向けた運転が再開出来るよう強く要請する。

(衆議院・参議院議長、内閣総理・総務・経済産業・環境大臣あて)

議案の審議(可決)結果一覧

第2回定例会

【市長提出議案(13件)】

- 武蔵野市非常勤職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例可決(全会一致)
- 特別土地保有税審議会条例廃止に伴い、同審議会委員報酬を削除するもの
- 武蔵野市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例可決(賛成多数)
- 雇用保険法改正に伴い条文整備をするもの
- 武蔵野市手数料徴収条例の一部を改正する条例可決(賛成多数)
- 8月25日から始まる住民基本台帳カード発行に伴う手数料等を定めるもの
- 武蔵野市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例可決(全会一致)
- 武蔵野市非常勤消防団員に係る退職報償金の額を2,000円引き上げるもの
- 平成15年度武蔵野市一般会計補正予算(第1回).....可決(賛成多数)
- 保育園の「涼」環境創出のための工事費など、総額2億1,461万9,000円を当初予算に追加するもの
- 平成15年度武蔵野市老人保健(医療)会計補正予算(第1回)可決(全会一致)
- 平成15年6月における武蔵野市議会議員の期末手当に関する条例可決(賛成多数)
- 平成15年6月における武蔵野市特別職等の職員の期末手当に関する条例可決(賛成多数)
- 平成15年6月における武蔵野市一般職の職員の期末手当に関する条例可決(全会一致)
- 武蔵野市助役の選任の同意について同意(賛成多数)
- 武蔵野市助役の選任の同意について同意(賛成多数)
- 武蔵野市収入役の選任の同意について同意(賛成多数)
- 武蔵野市固定資産評価員の選任の同意について同意(賛成多数)

【議員提出議案(3件)】

- 税源移譲を基本とする三位一体改革の早期実現に関する意見書可決(全会一致)
- 義務教育費国庫負担制度堅持に関する意見書可決(全会一致)
- 電力の安定供給に関する意見書可決(賛成多数)

INFORMATION

永年勤続議員表彰

6月4日開催の関東市議会議長会定期総会及び、6月19日開催の全国市議会議長会定期総会において、永年勤続議員として次の議員が表彰され、その伝達式が6月30日の本会議で行われました。

20年以上勤続 石井 一徳

議会ダイアル

自由民主クラブ	TEL60 - 1884	FAX51 - 9444
民主・市民ネット	TEL60 - 1889	FAX51 - 9587
市議会市民クラブ	TEL60 - 1885	FAX51 - 9445
市議会公明党	TEL60 - 1887	FAX51 - 9479
日本共産党武蔵野市議団	TEL60 - 1888	FAX51 - 9485
市民の党	TEL60 - 1890	FAX51 - 9604
無党派議員(第7控室)	TEL60 - 1886	FAX51 - 9469
無党派議員(第8控室)	TEL60 - 1909	FAX51 - 9629

6月より、各党派議員控室に直通FAXが入りました。

■ 議会事務局

TEL 0422-60-1883

E-mail OFC-GIKAI@city.musashino.tokyo.jp

HomePage http://www.city.musashino.tokyo.jp/assembly/index.html

陳情 審議結果

- 採択
 - 義務教育費国庫負担制度堅持に関する陳情
 - 不採択
 - 陳情等、市民意見の適切な取り扱いに関する陳情
 - 会議録等の適正で迅速な公開に関する陳情
 - 国立・私立小学校児童の学童クラブに関する陳情
 - 市内の公共の場所における喫煙と煙草の投げ捨てを禁止し違反者から罰金を徴収する条例の制定に関する陳情
 - 市役所の自転車置き場に関する陳情
 - 市長交際費に関する陳情
 - 市庁舎における分煙対策に関する陳情
 - 市営室内プールの水温に関する陳情
 - 水中ウォーク専用プール設置に関する陳情
 - 健康相談の拡充に関する陳情
 - 脳梗塞などの脳卒中の予防と早期治療に関する陳情
 - 約600億円の遊休土地の有効利用に関する陳情
 - 議会改革断行に関する陳情
 - 一事不再議
 - 市長交際費に関する陳情
 - 市営水泳プールに関する陳情
 - 継続
 - 農水省跡地利用計画に関わる議会の審議の適正化に関する陳情
 - 心身障害者(児)・難病者介護料助成に関する陳情
 - 教育基本法の改定反対に関する陳情
 - 用途地域改正に関する陳情
 - 外国人学校の大学受験資格に関する陳情
 - ほか七件
- *一事不再議とは、会期中に結論の出た事柄と同一主旨のものについては、再び結論を出さないことをいいます。



洗濯機寄贈後

洗濯機寄贈前

With you vol.6

武蔵野市の友好都市であるルーマニア・ブラショフ市において、医療支援を行っているのが、市内に本拠地を置くNPO法人、プロジェクトHOPEジャパンです。産婦人科病院へ赤ちゃんのおむつ用洗濯機を寄贈したり、ブラショフ市のITセンターの開設に協力するなど、両市の11年にわたる交流において、大きな役割を果たしています。